

記載例

実務経験届出書

次のとおり、実務経験を有することに相違ないことを誓約します。

〇〇年〇〇月〇〇日

技術者本人の氏名を明記の上、本人が認印を押印してください。

氏名 沼田 一郎 印

(生年月日 昭和 53 年 7 月 20 日 40 歳)

建設業法第7条第2号イに該当する者(指定学科卒業者)	学校名	学部・学科名	卒業年月																									
			年 月卒業																									
建設業法第15条第2号ハに該当する者のうち実務経験を要する者	技能検定における検定種目、免許、資格等		合格・取得・登録年月日																									
			年 月 日																									
以下の実務経験により主任技術者資格を満たす建設工事業(該当種目に〇印)	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	土	建	大	左	と	石	屋	電	管	夕	鋼	筋	ほ	ぼ	板	漆	塗	陸	内	機	造	通	園	世	界	水	消	清
<p>実際に従事した期間を月単位で記入してください。 なお、従事期間は重複して記入できません。</p>																												
実務経験																												
所属事務所名	実務経験内容(工事名称等)																				従事期間							
〇〇工務店	〇〇邸新築工事																				平成 20 年 4 月から	平成 21 年 1 月まで						
〇〇工務店	△△邸増築工事																				平成 21 年 4 月から	平成 21 年 11 月まで						
〇〇工務店	××ホテル改修工事																				満5年		平成 22 年 2 月から	平成 23 年 4 月まで				
〇〇工務店	〇〇アパート新築工事																				平成 23 年 7 月から	平成 24 年 3 月まで						
〇〇工務店	□□邸新築工事																				平成 24 年 5 月から	平成 25 年 3 月まで						
																					申請する建設業の許可種目に対応する実務経験を記入して下さい。							
(株)△△建設	◇◇団地改修工事																				平成 25 年 4 月から	平成 26 年 3 月まで						
(株)△△建設	□□ビル新築工事																				平成 26 年 5 月から	平成 27 年 9 月まで						
(株)△△建設	△△小学校体育館改修工事																				満5年8月		平成 27 年 10 月から	平成 28 年 3 月まで				
(株)△△建設	××公園トイレ新築工事																				平成 28 年 5 月から	平成 28 年 10 月まで						
(株)△△建設	〇〇マンション新築工事																				平成 29 年 1 月から	平成 30 年 11 月まで						
																					<p><期間の数え方> 記載した工事の最初と最後の期間を数えます。 (今回の例) 平成20年4月から平成25年3月までの満5年 平成25年4月から平成30年11月までの満5年8</p>							
																				合計	満 10 年 8 月							

○記載要領

- この届出書は、申請する建設業に係る建設工事の種目ごとに、作成すること。
- 実務経験とは、当該工事等に技術者、設計技術者、現場監督技術者等として実質的に従事した技術上の経験をいいます。
- 建設業法第7条第2号のイに該当する者は指定学科に応じた年数、同号のロに該当する者は10年以上、法第15条第2号のハに該当する者は技能検定における検定種目、取得免許・資格等に応じた年数の実務経験を記入すること。

